

観点項目		発行者	東京書籍	教育出版	光村図書
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	◎	☆
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	◎	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	○	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	◎	◎	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	◎	☆
教科独自観点	(4)	語彙の量と質を充実させるような教材の工夫がなされているか。	◎	◎	◎
	(5)	情報の取捨選択や整理及び発信する力がつくような教材の工夫がなされているか。	☆	○	☆
	(6)	読書活動の充実を図ることができるような教材の工夫がなされているか。	◎	◎	☆
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長					
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	◎	◎	☆
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	◎	◎	☆
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	☆	◎	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。 【東京書籍】 (◎)：「身に付ける力、(言語活動)、見通す、取り組む①②③…、振り返る」の単元構成が徹底している、国語科に求められる資質・能力の育成につながる。 【教育出版】 (◎)：各単元「学習の進め方」として、学習過程が明確に示してあり、国語科の目標達成につながる。 【光村図書】 (☆)：各領域において「問いをもと」で学習において考えていくことを自分に問いかけ、「目標」で自分の問いと関わらせながら学習目標を確かめ、「振り返ろう」でどんな学習をしたのか自分の言葉で振り返り、まとめる単元構成になっている。
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。 【東京書籍】 (◎)：郷土長崎の食文化や身近なごみ問題とSDGsを取り上げている単元があり、子供の関心を高める。 【教育出版】 (◎)：AIについてディベートする言語活動や本県世界遺産と関連付けながら意見文を書く単元がある。 【光村図書】 (◎)：身近な環境問題から自然環境を守るための意見文を書く言語活動がある。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。 【東京書籍】 (◎)：単元巻頭の「言葉の力」で何を学ぶのかが端的に示されている。また下学年で学習した同領域の単元名がある。 【光村図書】 (◎)：「たいせつ」で、当該学年指導事項を示し、「コラム」でより生活場面に沿った活用ができるようにしている。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。 【東京書籍】 (◎)：QRコードで下年生で学んだ「ことばの力」を確認することができる。「読むこと」「書くこと」の複合単元があり、本で調べたことをカードにまとめる活動もある。 【教育出版】 (◎)：相手意識をもちどんなことを伝えるのか考えて書く単元がある。「読むこと」の単元でもなぜそのように思ったり考えたりしたのか理由を考えるように示唆している。 【光村図書】 (◎)：「読むこと」の単元の終末には書く活動が取り入れられており、そのことを友達と交流するような単元構成になっている。「書くこと」の単元は体験したことや観察したことをもとに考えるようにしてある。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。 【東京書籍】 (◎)：巻頭に「国語の学習の進め方」があり、学習過程の説明が明記してある。また、「国語のノートのつくり方」も具体的に示されている。 【教育出版】 (◎)：「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、「学習の進め方」の欄があり、学習の見通しをもって本時や次に何を学習するのかわかるようにしてある。 【光村図書】 (☆)：全学年に「国語の学びを見わたそう」があり、学習の進め方や生かし方が示されている。「〇学年で学ぶこと」の下段に、これまでに学んだことが記されていて、学年の学びの段階がわかりやすい。
教科独自観点	(4)	語彙の量と質を充実させるような教材の工夫がなされているか。 【東京書籍】 (◎)：付録の「学習で使う言葉」「言葉の広場」が充実しており、「言葉の広場」は小単元の「言葉相談室」と関連している。 【教育出版】 (◎)：「読むこと」の単元の後には、「言葉」「言葉を増やそう」のページがあり、「言葉の広場」「言葉の文化」など言葉に関する小単元もある。 【光村図書】 (◎)：「学習」のページの下段にポイントとなる言葉が、「言葉」として示されている。巻末に「言葉の宝箱」があり、充実している。
	(5)	情報の取捨選択や整理及び発信する力がつくような教材の工夫がなされているか。 【東京書籍】 (☆)：小単元「情報のとびら」が全学年に3つずつあり、内容もマンガを取り入れるなどの工夫がある。 【光村図書】 (☆)：「情報」の小単元があり、巻末に「図を使って考えよう」として見開きでまとめている。
	(6)	読書活動の充実を図ることができるような教材の工夫がなされているか。 【東京書籍】 (◎)：「〇年生の本だな」の後に教材文の作者や著名な本作者の読書体験談があり、子供が読書活動に向かうように工夫してある。 【教育出版】 (◎)：年間を通して「読書の広場」の単元がある。付録「〇年生で読みたい本」では、ジャンル別や学習内容に応じた図書を紹介しており、読書の幅を広げようとしている。 【光村図書】 (☆)：年間を通して「本は友だち」の単元がある。単元のテーマをもとに「この本読もう」が紹介されており、巻末には「本の世界を広げよう」でジャンル別に読書活動ができるようにしている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。 【東京書籍】 (◎)：紙面内の文字や図版等の区別を明確にして配色を工夫している。 【教育出版】 (◎)：イラストや図版は内容が区別できるように色づかいと色彩のバランスに配慮してある。 【光村図書】 (☆)：各単元の「見とおしをもと」の部分や「たいせつ」及び小単元で色を区別してある。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 【東京書籍】 (◎)：必要な情報が得られるように配慮してあり、説明文の写真が鮮明である。 【教育出版】 (◎)：挿絵・図版・写真は学習意欲を高めるもの、文章の理解を補う資料性の高いものにしてある。 【光村図書】 (☆)：児童のイメージを豊かに広げる挿絵や写真を取り入れている。特に説明文の写真が鮮やかである。
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む) 【東京書籍】 (☆)：付録に「デジタル資料を使おう」のページがあり、動画で分かりやすく学ぶことができるようにしてある。言葉や漢字に関する練習問題も設けてある。 【教育出版】 (◎)：「読むこと」のQRコードは、作者・筆者の紹介、作者の記念館や「NHKforscheol」とリンクしている単元もある。 【光村図書】 (◎)：単元に関わる効果的な動画がある。また、教科書裏表紙のQRコードが充実している。

観点項目		発行者	東京書籍	教育出版	光村図書
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	☆	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	◎	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	◎	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	◎	☆	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	◎	◎
教科独自観点	(4)	日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育む内容・構成の工夫がなされているか。	☆	☆	◎
	(5)	硬筆と毛筆を関連付けて学習を進めることができるような教材の工夫がなされているか。	◎	☆	☆
	(6)	点画の書き方への理解や、適切に運筆する能力の向上につながるような教材の工夫がなされているか。	☆	☆	◎
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長					
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	☆	☆
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	◎	◎	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	◎	◎	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容・構成となっているか。	【教育出版】(☆)：「文字の世界」で文字そのものへの興味を高めるとともに、活字と手書き文字の違いや書体による違いに触れている。
	(2) 郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	【東京書籍】(◎)：百人一首や筆、和紙、墨の作り方などを紹介している。 【教育出版】(◎)：3年生のお礼状の宛先見本に長崎市の住所を使用している。かるたや筆の作り方を紹介している。 【光村図書】(◎)：筆、和紙、墨、硯ができるまでの工程を動画等で紹介している。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	【東京書籍】(◎)：左利きの児童への配慮が教科書内にある。単元のねらいを明確化した「書写のかぎ」がある。毛筆の必要性に触れている。 【教育出版】(◎)：「とん・すうっ・びた」などの表現や空書き等によって運筆をリズムよく体感し、理解しやすいよう工夫している。 【光村図書】(◎)：「スタートブック」や「トン・スー・トン」などの運筆の表現、穂先の大きさのイラストなど、理解しやすいよう工夫している。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	【教育出版】(☆)：思考力、判断力を育成するための発問では、低学年にヒントを多くするなど、学年による発達段階を考慮した内容になっている。「考えよう」「ここが大切」「生かそう」などにより、自主的な学習や自らの学びの変容に気づかせる工夫がある。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	【東京書籍】(◎)：「書写のかぎ」で運筆等の知識・技能がわかりやすく示している。 【教育出版】(◎)：「めあて」「ふりかえろう」で学習内容を明示している。対話的な学びで理解が深まるよう工夫している。 【光村図書】(◎)：学習の準備や片付け、ポイントについて写真等で視覚的に示している。対話を通して学習が深まるよう工夫している。
教科独自観点	(4) 日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育む内容・構成の工夫がなされているか。	【東京書籍】(☆)：「生活に広げよう」で他教科や日常生活への接続や教科横断的な学習への工夫がある。 【教育出版】(☆)：「レットトライ」で他教科や日常生活への接続や教科横断的な学習への工夫がある。
	(5) 硬筆と毛筆を関連付けて学習を進めることができるような教材の工夫がなされているか。	【教育出版】(☆)：硬筆の試し書き、毛筆練習、硬筆によるまとめ、という構成で毛筆と硬筆を関連付けている。次年度への接続や硬筆・毛筆学習の意味を考えながら指導できるよう工夫している。 【光村図書】(☆)：「生かそう」において毛筆のポイントが硬筆につながるよう工夫している。「発展」で次年度への接続や系統性について説明している。
	(6) 点画の書き方への理解や、適切に運筆する能力の向上につながるような教材の工夫がなされているか。	【東京書籍】(☆)：点画の書き方において、長さや間隔、運筆の速度や筆圧等のポイントがわかりやすく示している。学年の発達段階に応じて重点化しながら、系統的に指導ができるよう工夫している。 【教育出版】(☆)：横画から縦画、払いなどへと、既習事項を踏まえた段階的な学習ができるよう構成している。書き方の原理・原則を理解し、他の文字で応用できるよう工夫している。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1) 文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	【東京書籍】(☆)：問いかける表現により、主体的に考え理解が深まるよう工夫している。系統的に分解・整理ができるようインデックスをつけている。 【教育出版】(☆)：学習のポイントを十分な大きさと明確に示している。「考えよう」「ふり返ろう」の構成や、見開きページで完結する工夫がある。 【光村図書】(☆)：3年生の毛筆学習の導入では見開きで手本やポイントを示している。学年・発達段階に応じて主体的に学習・指導ができる工夫がある。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	【東京書籍】(◎)：穂先の動きを視覚的にとらえられるよう工夫している。 【教育出版】(◎)：運筆のポイントや筆圧を視覚的にとらえられるよう工夫している。 【光村図書】(◎)：色の濃淡やイラストを用いて、穂先の動きを視覚的にとらえられるよう工夫している。
	(3) 個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	【東京書籍】(◎)：ユニバーサルデザインに配慮した配色・デザインとなっている。使用する漢字は学習する学年以下を基本とし、その学年で学習する漢字にはふりがなをつけている。 【教育出版】(◎)：2色の濃淡表示で文字の配置・バランスを考えやすくしている。ユニバーサルデザインに配慮した配色など、構成を工夫している。 【光村図書】(◎)：ユニバーサルデザインに配慮した配色・デザインによって学習内容を見やすくまとめ、学習に集中できるよう構成を工夫している。

観点項目		発行者	東京書籍	教育出版	日本文教
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	○	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	○	☆
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長					
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	◎	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	☆	◎	☆
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	○	☆
教科独自観点	(4)	人々（児童自身を含む）の生活との関連をふまえて理解させるような工夫がなされているか。	◎	◎	◎
	(5)	国や地域社会に対する誇りや愛情、国（国際社会）や地域社会の将来を担う一員としての自覚を養うような工夫がなされているか。	◎	◎	☆
	(6)	問題解決学習を充実させ、児童が社会事象の見方・考え方を働かせて考察したり、構想したりすることができるような工夫がなされているか。	☆	◎	☆
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長					
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	○	◎	☆
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	◎	☆
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）	◎	○	☆

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。</p> <p>【日文】(◎)：SDGsを中心に現代的な諸課題を意図的に取り上げ、社会の様々な事象に対して深く考えさせようとしている。単元の終末に、未来につなげるテーマを設定し、よりよい社会の形成に参画する態度を養う配慮をしている。また、長崎市の教材が数多く扱われているため、児童が長崎のまちを愛する気持ちを育むことができる。</p> <p>【東書】(◎)：今日的課題を身近に感じることができるような内容を取り上げ、進んで社会に参画しようとする意識を高める配慮をしている。</p>
	(2)	<p>郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。</p> <p>【日文】(☆)：4年の「地域の伝統や文化と先人のはたらき」では、単元を通して14ページにわたり「長崎くんち」が取り上げられ、本市の小学校の取組も紹介されている。表紙の写真にも大浦天主堂と長崎くんちが使われている。6年の政治国際、歴史、それぞれの単元においても扱われている。</p> <p>【東書】(◎)：5年において長崎市の造船が1ページ用いて紹介されている。6年歴史においても取り上げられている。</p>
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。</p> <p>【日文】(◎)：「学び方・調べ方コーナー」等を設定し、学習の進め方やグラフの読み取り方等を、分かりやすく解説している。</p> <p>【東書】(◎)：単元のまとめでは、学習内容を分かりやすくまとめた例を示し、知識・技能が確実に習得されるように工夫している。</p> <p>【教出】(◎)：「学びのてびき」コーナーでは、情報の集め方や資料の読み取り方等を、分かりやすく解説している。</p>
	(2)	<p>知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。</p> <p>【東書】(☆)：学習過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」として整理し、課題を追究・解決する学習を促すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫している。</p> <p>【日文】(☆)：課題を発見・追究・解決し、深めていくという学習の流れを示すことで、知識・技能を活用した問題解決的な学習を促し、思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫している。</p>
	(3)	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。</p> <p>【日文】(☆)：単元導入時に分かりやすい写真や絵を紹介し、疑問点や「学習のまど」を用いて課題を見つけさせ、それを解決していく学習を促すことで、主体的に学習が進められるように工夫している。</p> <p>【東書】(◎)：学びの中心となる活動や問いかけを「学びのポイント」として示すことで、見通しをもって主体的に学習が進められるように工夫している。</p>
教科独自観点	(4)	<p>人々（児童自身を含む）の生活との関連をふまえて理解させるような工夫がなされているか。</p> <p>【日文】(◎)：わたしたちの県では、写真や地図資料によって、自分たちの住む県の地理的環境と生活との関連について、理解を深められるよう配慮している。</p> <p>【教出】(◎)：レシートや学校の消防施設、交通事故を防ぐ施設など、身近なところで目にするものを題材として効果的に取り入れることで、自分と生活との関連を踏まえた理解を深められるように配慮している。</p>
	(5)	<p>国や地域社会に対する誇りや愛情、国（国際社会）や地域社会の将来を担う一員としての自覚を養うような工夫がなされているか。</p> <p>【日文】(☆)：歴史学習では、自分たちの住むまちにある史跡や博物館を探访する事例を示すことで、地域や我が国の歴史・伝統等について理解が深められ、国や地域社会に対する誇りや愛情を養えるように配慮している。</p> <p>【東書】(◎)：歴史学習では、身近な人物や文化遺産、既習事項等から学習へ導入したり、年表や各時代の想像図等を示したりし、先人の業績や優れた文化遺産について理解を深められ、国を愛する心情を養えるように配慮している。</p>
	(6)	<p>問題解決学習を充実させ、児童が社会事象の見方・考え方を働かせて考察したり、構想したりすることができるような工夫がなされているか。</p> <p>【東書】(☆)：キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を空間・時間・相互関係・方法等に整理し、思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫している。</p> <p>【日文】(☆)：「見方・考え方コーナー」では、社会的な視点を空間・時間・関係の3つに整理し、イラストで示すことにより思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫している。</p>
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	<p>文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。</p> <p>【日文】(☆)：キャラクターによる対話を多く掲載し、児童にとって親しみやすい表現で課題意識をもたせたり、内容を理解したりできるように工夫している。フォントや行間を変えて、重要な部分を分かりやすくする工夫をしている。</p> <p>【教出】(◎)：中学年はキャラクターの対話を重視したり、高学年では記述を詳しくしたりと、発達段階に応じた説明の仕方を工夫している。文字が濃く行間が広く見やすい。</p>
	(2)	<p>写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p> <p>【日文】(☆)：資料の読み取りに特化したコーナーを設けるなど、学びを深める工夫がされている。写真や図表等も豊富でとても見やすくなっている。</p> <p>【教出】(◎)：昔の写真カラーで復元したり、資料を折り込みで大きいものを使用したりと、読み取る活動を効果的に行えるように配慮している。</p>
	(3)	<p>個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）</p> <p>【日文】(☆)：各単元に補充学習があり、ワークシートや動画などのQRコードが豊富で充実している。学習問題に対する、解決のための幅広い情報の質と量があり、個別最適な学びに対応している。</p> <p>【東書】(◎)：インタビュー動画やまなび方コーナー動画等の、QRコードが充実している。</p>

観点項目		発行者	東京書籍	帝国書院
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	○	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	◎	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	◎
教科独自観点	(4)	必要な情報(統計資料等含む)を適切に調べまとめる技能を身に付けられる基礎的資料であるか。	☆	◎
	(5)	位置や地形、経路、拡がりや分布、地域間のつながりなどの情報を読み取ることができる資料であるか。	◎	☆
	(6)	3年生から6年生まで使用するのので、児童の発達段階を考慮しているか。	◎	☆
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	◎	☆
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	◎	☆

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	【東書】(◎)： 世界や日本の自然・文化遺産、特産品を示すことで世界や我が国の郷土の伝統、文化、自然に対する理解を深め、国際性や郷土愛を育むことができる。 【帝国】(◎)： 各国の有名なものや日本が多く輸入するを示すだけでなく、「世界のSDGs」や「世界の子どもたち」というコーナーもあり、世界の人々と共に生きようとする心を育むことができる。
	(2) 郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	【東書】(○)： 長崎の世界文化遺産をはじめ、統計資料では主な農水産物や郷土料理を記載もあり、郷土の特徴を理解できる。 【帝国】(◎)： 「広く見わたす地図」では、長崎県の島部が切れることなく、本県全域を表されている。長崎の世界文化遺産や観光名所、特産物などの写真や挿絵が記載されており、郷土に対して関心を持てる。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	【東書】(○)： 地図のきまりでは、地図帳の導入として、親しみやすいキャラクターがガイドをしながら、地図の基本を丁寧に学べる。 【帝国】(◎)： 4ページにわたる地図帳の使い方では、記号や色に注目することや索引の使い方、縮尺について詳しく解説されており、地図の見方や使い方を理解することができる。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	【東書】(◎)： 「日本の歴史世界とのかかわり」では、年表と当時の世界の国々と日本の関係がわかる地図が掲載され、航路や領土の広がりなどを調べ、歴史的事象について思考・判断し表現する学習ができる。 【帝国】(◎)： 「日本の産業のようす」では、農水産業や工業・エネルギーの視点において、吹き出しに注目すべき点や調べる内容を明確に示すことで、資料を活用して思考し表現する学習活動につなげられる。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	【東書】(◎)： 「マップでジャンプ」の問題があり、児童が興味をもって取り組んだり、話し合いながら学習したりできる。 【帝国】(◎)： 「地図マスターへの道」の問題を通して、意欲的に調べたり、話し合ったりして学習を進めることができる。
教科独自観点	(4) 必要な情報(統計資料等含む)を適切に調べまとめる技能を身に付けられる基礎的資料であるか。	【東書】(☆)： クリアな写真が74枚記載されており、情報量も多い。また、日本と外国の貿易データなど2020年のものが多く、新しいものとなっている。 【帝国】(◎)： 大きさや距離の比較をはじめ、比較・関連させて考察できる資料を多く配置し、社会的な見方・考え方を働かせられる資料図・統計になっている。
	(5) 位置や地形、経路、広がりや分布、地域間のつながりなどの情報を読み取ることができる資料であるか。	【東書】(◎)： 「日本の交通、都市」では、高速道路、鉄道、空港、港などの交通網と主な都市を地図に併記することで、都市の位置や交通網の広がりに着目させ、主な都市と流通の関係について追及できる。 【帝国】(☆)： 広く見渡す地図で長崎県全体の広がり(二等辺三角形)がわかる。択捉島と沖縄の比較など、いろいろな場面で地形に関して大きさや長さの比較があり、わかりやすい。
	(6) 3年生から6年生まで使用するので、児童の発達段階を考慮しているか。	【東書】(◎)： 中学校の地図帳との接続を見据え、小学校段階での学習の充実と発展を図ることができるよう、内容をよく吟味し、地図に親しみを持てるようにしている。 【帝国】(☆)： 中学年と高学年用の2種類の地図があり、中学年用は情報量が適度であり、3、4年生が見やすいものになっている。発達段階への配慮が見られる。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1) 文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	【東書】(◎)： 陸の高さを7色で色分けしており、高低差がわかりやすい。全体のページ数が少ない分、情報を多く凝縮し、まとめることで、同じページでいろいろなことを調べられるようになっている。 【帝国】(☆)： 全体として色彩が明るく、文字の大きさ、レイアウトも適当で、大変見やすい。また、標高の高い部分は陰影をつけて立体的に表現したり、土地利用の色分けを掲載したりして分かりやすい。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	【東書】(○)： 日本の主な世界遺産、伝統文化や食文化の写真やイラストを多く掲載することで、我が国の歴史や伝統と文化への関心を高めることができる。 【帝国】(◎)： 日本の歴史学習と関連させた資料をはじめ、自動車工業に特化した愛知県の地図など社会科の教科書の学習内容との関連を大切にしている。
	(3) 個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	【東書】(◎)： QRコード(全36個)のｺﾝﾃﾝﾄに白地図が入っており、白地図を使って個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ることができる。また、「マップでジャンプ」の問題では、個別最適な学びができる。 【帝国】(☆)： QRコードの数が多く(全46個)、ｺﾝﾃﾝﾄも多岐にわたっており充実している。ドローン映像も中に入っており、わかりやすい。また、「地図マスター」の問題や解答、記録を残すコーナーがあり、個々が自分のペースで学習ができる。

観点項目		発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	○	○	◎	◎	○
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	☆	○	◎	○	○	○
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○
教科独自観点	(4)	学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習を展開したり、統合的・発展的な学習が展開できるよう工夫されているか。	☆	○	○	○	☆	◎
	(5)	数、式、図、表、グラフなどの表現を用いて考えたり、自分の考えを説明したりする学習活動が工夫されているか。	☆	○	◎	○	◎	○
	(6)	数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、進んで生活や学習に活用したくなるような数学的活動が設定されているか。	☆	○	◎	○	◎	○
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長								
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	◎	○	○	◎	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	○	○	◎	☆	○
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	◎	○	○	○	☆	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。 【東 書】◎：特集ページに、ノートの取り方の見本が例示してあったり、私たちの身の回りで問題があった時の解決方法が例示されていたりする。また、5年生では大谷翔平さん、6年生では野口聡一さんのトピックが載っていて、子供たちに将来の夢を与えている。 【啓林館】◎：6年の特集ページ「未来への扉」では算数で学んだ知識や考え方を深め、いろんな形で役立てている4名にインタビューし、算数の有用性を教えている。
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。 【東 書】◎：東書の5年生上の教科書の表紙は、長崎の花であるアジサイの折り紙作品になっている。佐世保の「味カレー」を挿絵に使っている。 【教 出】◎：カステラの挿絵や長崎産のイチゴの収穫量のデータ、対馬の地図が使われている。 【啓林館】◎：女神大橋、眼鏡橋の写真やミカンの収穫量のデータを使っている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。 【東 書】◎：各単元の初めに既習事項の復習のページが用意されている。単元末の「たしかめよう」や巻末の「補充の問題」のページも、知識・技能の習得ができるよう工夫されている。 【啓林館】◎：各単元末にある「学びのまとめ」で「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」と段階を追いながら、知識・技能の習得ができるよう工夫されている。巻末の「準備」「もっと練習」のページも予習・復習に役立つようにできている。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。 【東 書】(☆)：キャラクター「ますりん」が効果的にヒントを出し、既習事項を確認しながら課題解決ができるようにしている。「ますりん通信」「今日の深い学び」のページも既習事項をもとに、思考力・判断力・表現力が身につくよう工夫されている。巻末にも、様々なパターンの問題が用意されており、児童の意欲を書きたてながら学習が進むよう工夫されている。 【学 図】◎：巻末の「まなびをいかそう」のページで既習事項を活用する問題が用意されている。算数で必要な考え方を「考え方モンスター」とキャラクター化することで、思考力・判断力を楽しく身に付けることができるよう工夫されている。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。 【東 書】◎：裏表紙の内側には、「さく引」があり、教科書で学習した言葉や記号を素早く探そうことができるようになっている。その数も多い。学習の振り返りや確かめをするときに便利である。巻末の「ふりかえり」のページも既習事項が系列ごとに並べられており、復習するときに便利である。「新しい算数+」の部分は、個に応じた学習が進められるよう工夫されている。 【啓林館】◎：巻末の「学びをつなげよう」のページに5年生までの既習事項が整理されている。最終ページに「さくいん」があり、学習した言葉や記号を素早く探そうことができるようになっている。
教科独自観点	(4)	学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習を展開したり、統合的・発展的な学習が展開できるよう工夫されているか。 【東 書】(☆)：すべての単元において、系統的につながる前単元での学習内容が、単元の初めに特設されている。その内容が、知識と技能に偏ることなく、教材の持つ本質にかかる内容(かけ算で言えば1つ分やいくつ分)であったり、オープニングムービーだったり、シミュレーションだったりする。さらに、それを1ページにうまくまとめている。前単元の学習内容を確認したいときに、今学習している単元の最初のページに戻ればよいので、扱いやすい。 【啓林館】(☆)：単元の最初に、前単元の復習ページがある。内容も精選されている。 【日 文】◎：前学年、前単元の学習内容は、知識・技能を主にして、単元の初めに記載してある。
	(5)	数、式、図、表、グラフなどの表現を用いて考えたり、自分の考えを説明したりする学習活動が工夫されているか。 【東 書】(☆)：「少数のかけ算・わり算」において例示の2人の考え方があり、問いが「違いはどこでしょう。」でなく、「共通していることはどんなことでしょうか。」こういった教材の本質に迫る発問になるよう精選されている。また、数直線図や関係図、式、日本語での説明が見やすく整理されている。日本語での説明はポイントを絞っており、短く、わかりやすい。 【学 図】◎：数直線図に色分けした矢印をつけて理解を促している。 【啓林館】◎：考え方の説明が、児童が考えた説明をノートにまとめたような表記になっていてわかりやすくなっている。
	(6)	数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、進んで生活や学習に活用したくなるような数学的活動が設定されているか。 【東 書】(☆)：「つないでこう算数の目～大切な見方・考え方」が単元末に設定してある。学習した単元のまとめにもあたるが、数学的なよさを問う形式にした問題が用意してある。 【学 図】◎：「体積」や「正多角形と円」、「円周ものさし」など、具体操作につながる教材が綴じこまれている。 【啓林館】◎：単元末の「ふりかえろう」では、大切なことを言葉で説明することで数学的な見方や考え方を育もうとしている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。 【東 書】(☆)：フォントが見やすい。色彩も柔らかい感じで適切である。(色覚特性に適応するようなデザイン)・紙質もとても良い。軽量の紙を使用。1年は薄く大判。ワークのような書き込みが充実している。立体的な絵とブロックの1対1対応が示され、具体物と半具体物のつながりがわかりやすい。 【大日本】◎：紙が薄い。高学年は上巻下巻をなくして1冊にしている。1年別冊は薄く大判。また、文章の数をしぼり、写真や挿絵、図表が調べやすく、読みやすいようにレイアウトがなされている。文章問題が充実してきている。 【啓林館】◎：UDフォントを採用しており、文字が見やすい。2年「長さ」の単元では、折込のページが広がるように工夫されていて、紙質もしっかりした厚さである。色彩も柔らかく適切。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 【啓林館】(☆)：単元の初めの挿絵が既習事項の確認や単元につながる絵や写真になっていて工夫されている。写真で机上の操作活動の様子がわかるように提示している。 【教 出】◎：単元の初めに大きな写真で生活場面とのつながりを示す。写真の角度の違いで、机上での操作活動の様子を示している。
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む) 【啓林館】(☆)：「わくわくプログラミング」のページが各学年にあり、ブロックの図がわかりやすく提示してある。QRコードの上に小見出しとマークがあり、内容がわかりやすい。 【東 書】◎：デジタルコンテンツが数多く用意され、QRコードの数は、最多の1470である。 【日 文】◎：QRコードの数は、第2位の838である。QRコードに「ブロック」「うごかす」「こたえ」などの言葉が添えられていて、ICTで何を見ることができているかを示す。各学年に「レッツプログラミング」のページがあり、工夫されている。

観点項目		発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長							
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	☆	◎	○	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長							
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	☆	☆	◎	☆	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	◎	☆	◎	○	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	☆	☆	◎	◎	◎
教科独自観点	(4)	日常生活との関連を図り、直接体験を重視した教材の工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	(5)	問題解決の過程において、主体的に見通しをもって取り組めるように工夫されているか。	◎	☆	○	◎	◎
	(6)	観察・実験等における、安全面への配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長							
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	☆	◎	◎	◎
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	◎	☆	○	○	○

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。 【東京書籍】(◎)：「理科の世界 探検部」で飼育・栽培について詳しく記述したり、各学年の巻末にSDGsのコーナーを設けたりすることで、生命尊重や自然環境を保全する態度を養えるよう配慮されている。 【大日本図書】(◎)：「りかのたまてばこ」で飼育・栽培について、仕事と関連付けて記述したり、SDGsや自然を大切にすることを促すマークを用いたりすることで、生命尊重や自然環境を保全する態度を養えるよう配慮されている。
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。 【大日本図書】(☆)：3年と6年において、本県の資料が8つ掲載されている。このことにより、本県の自然等を題材とした学習に活用できるようになっている。 【学校図書】(◎)：4年、5年、6年において、本県の資料が4つ掲載されている。このことにより、本県の自然等を題材とした学習に活用できるようになっている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。 【大日本図書】(☆)：単元末では、習熟度合いを確認できる「確かめよう」を、巻末では学年全体の復習ができる「〇年のまとめ」を設定することで、学習の振り返りができるように工夫されている。 【教育出版】(☆)：単元末に「ふり返ろう」や「たしかめよう」を、巻末では「〇年で学んだこと」を設定することで、学習の振り返りができるように工夫されている。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。 【大日本図書】(☆)：見方・考え方の参考となる「ココに注目」が示されている。また、単元末に「学んだことを生かそう」を設定することで、思考力、判断力、表現力等の育成が図られるように工夫されている。 【学校図書】(◎)：育みたい資質・能力を「理科モンスター」として示されている。また、単元末に「やってみよう」を設定することで、思考力、判断力、表現力等の育成が図られるように工夫されている。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。 【東京書籍】(☆)：単元の導入に簡易的な体験や自然現象との触れ合いをさせることで疑問を引き出すとともに、「学びのライン」により、見通しをもたせることで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 【大日本図書】(☆)：単元の導入では、自然の事物・現象の写真を提示し、問題を見出せるようにしたり、「〇年で学んだこと」を示したりすることで、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。
教科独自観点	(4)	日常生活との関連を図り、直接体験を重視した教材の工夫がなされているか。 【大日本図書】(◎)：単元の終わりに「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」を設定し、学習に関連した資料を提示することで、日常生活との関連を理解できるように工夫している。 【啓林館】(◎)：単元内に「理科の広場」を設定し、学習内容を深める体験ができるようにすることで、直接体験の充実が図られるよう工夫されている。
	(5)	問題解決の過程において、主体的に見通しをもって取り組めるように工夫されているか。 【大日本図書】(☆)：単元初めの見開きに単元に関する理理的な考え方を意識するきっかけとなるダイナミックな写真やマンガを掲載することで、自然への問題を見出し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 【啓林館】(◎)：巻頭で学習の流れを示すとともに、単元の問題解決の過程を「学びのサイクル&ライン」を用いて表記し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
	(6)	観察・実験等における、安全面への配慮がなされているか。 【全教科書】(◎)：表現の違いはあるものの、実験・観察を行う際の注意点が適切に表記されており、安全を意識して実験・観察ができるよう配慮されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。 【東京書籍】(☆)：文章は単語ではなく文節で改行したり、単元導入のページと「まとめ」ですべての漢字に振り仮名をつけたりすることで、内容を理解しやすいように工夫されている。 【大日本図書】(☆)：当該学年で学習する漢字にはすべて振り仮名をつけ、文節改行するとともに、内容を理解しやすいよう工夫されている。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 【学校図書】(◎)：鮮明で実物に忠実な写真や資料画を豊富に掲載するとともに、着目するところは部分的に大きく拡大することで、学習意欲を喚起し、学習効果が高まるよう配慮されている。 【教育出版】(◎)：実物大や見開き表示の写真や図表を豊富に掲載するとともに、単元末の「ふり返ろう」で、学んだことを図を使って解説することで、学習効果が高まるよう配慮されている。
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む) 【大日本図書】(☆)：キャラクターがペアで対話することで協働的な学びが行いやすい工夫がある。また、QRコードの位置を固定し、動画内容を表記することで、豊富なコンテンツを活用しやすい工夫がみられる。 【東京書籍】(◎)：キャラクターを登場させ、見方・考え方のヒントを示し、協働的に学べるよう工夫されている。また、QRコードを活用して学習をサポートするコンテンツを十分に設けている。

観点項目		発行者	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	光村図書	啓林館
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	○	◎	○	○	○	○
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	◎	○	○	○	○
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	○	○	○	◎	△	△
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	○	○	○	◎	△	○
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	○	◎	○	○	○	○
教科独自観点	(4)	活動内容及び教材は、児童の身近な事象を取り上げ、具体的な活動や体験を通して、気付きの質を高めるよう工夫されているか。	○	☆	◎	◎	○	○
	(5)	具体的な活動や体験を通して、身近な人々や社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考え、自立の基礎を養うように工夫されているか。	△	○	○	◎	○	○
	(6)	入学当初から生活科を中心とした合科的な指導を行うスタートカリキュラムが編成できるように工夫されているか。	◎	○	○	○	○	☆
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長								
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	○	○	◎	○	○	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	☆	◎	○	○	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	○	☆	○	◎	○	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をひまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。</p> <p>【大日本図書】(◎)：日本の伝統や文化に関する教育の充実に配慮されているとともに、身近な地域の多様な人々と繰り返し関わることを通して、地域に愛着がもてるように配慮されている。また、活動をしていくうえでの困ったことや失敗にあえて言及し、問題意識をもってさらなる活動につなげる部分があり、新たな時代を強く生き抜く力を育てられるよう工夫している。</p>
	(2)	<p>郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。</p> <p>【大日本図書】(◎)：長崎のハタ、平和祈念像、茂木一〇香などの写真が掲載され、QRコードからは長崎市の四季を通じた祭り(帆船まつり・精霊流し・長崎くんち・ランタンフェスティバル)が紹介され、長崎市の児童にとって身近なもの、ことが扱われている。</p>
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。</p> <p>【教育出版】(◎)：巻末の資料には、生活に必要な習慣や技能を絵や文で示しており、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けやすいように工夫されている。また、写真・挿絵が豊富であり、植物の育ち方がページを追う毎に段階的に写真で紹介されたり、動物に関するクイズを掲載したり、児童が楽しみながら基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫されている。</p>
	(2)	<p>知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。</p> <p>【教育出版】(◎)：考えるヒントが短い言葉で示されたり、「思考ツール」(考えるための道具)が多く示されたり、考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。気付いたことをもとに考えることができるように、多様な言葉を掲載している。まとめたり伝えたりする表現方法も多様に紹介されている。</p>
	(3)	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。</p> <p>【大日本図書】(◎)：活動後の振り返りから、各自の思いや願いをもとに次の活動につながる流れにすることで、主体的に学習に取り組む態度を育成できるようにしている。そのため、振り返りを重視し、上巻には「きもちマーク」が配され、入学当初の児童が無理なく振り返りを行えるように工夫している。また、書き込み欄を設け、児童が気軽に自らを振り返り、自分の成長を実感できる教科書にしていくことができるよう工夫されている。</p>
教科独自観点	(4)	<p>活動内容及び教材は、児童の身近な事象を取り上げ、具体的な活動や体験を通して、気付きの質を高めるよう工夫されているか。</p> <p>【大日本図書】(☆)：体験活動と表現活動が繰り返される構成で、気付きの質が高まるよう工夫されている。児童の気付きのものになるような言葉掛けをキャラクターなどのセリフで表現している。下巻巻末「がくしゅうどうくぼこ」では、学び方名人、はっぴょう名人など、気付きを関連付け、質を高めるための学習活動が掲載されている。 【学校図書】(◎)：各巻末の「まななかたずかん」では、調べ方や伝え方を具体的に紹介することで、児童の気付きの質を高めることができるようになっている。また、登場人物の会話の中で、活動の視点を示し、自然と気付きの質が高まるようになっている。 【教育出版】(◎)：「はてな」キャラクターが、児童の思いや願いを引き出しながら気付きを誘発する言葉掛けを行い、読面を横断する「はっけんロード」によって、自然と気付きの質を高めながら活動が広がっていくように工夫している。</p>
	(5)	<p>具体的な活動や体験を通して、身近な人々や社会及び自然とのかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考え、自立の基礎を養うように工夫されているか。</p> <p>【教育出版】(◎)：多様な自然・社会・人々との共生、SDGsへの意識を高める教材を配したり、SDGsマークを配したりしている。学習過程の中で、児童が自分自身や自分の生活について考える学習活動を設けている。また、地域で生活や仕事をしている人々に関わる活動や資料が豊富に掲載され、地域の人々へのあこがれや愛着が育まれるように工夫している。</p>
	(6)	<p>入学当初から生活科を中心とした総合的な指導を行うスタートカリキュラムが編成できるように工夫されているか。</p> <p>【啓林館】(☆)上巻巻頭に「すたあとがく」を配し、幼児期に育まれた資質・能力を発揮しながら、児童が楽しく安心して学校生活をはじめることができるように工夫している。また、下巻巻末には、「ステップブック」を配し、幼児期や生活科で培った資質・能力を3年生以降につなげて、期待を持って進級することができるよう工夫している。 【東京書籍】(◎)：上巻巻頭に「がっこうせいかつたあと」を設け、段階をつけたページとすることで、学校生活をスタートさせた児童が徐々に小学校に慣れ親しんでいくことができるように、そして指導者もその段階を意識して指導にあたることができるよう工夫している。「つながるひろがる」というページを設け、生活科を中心に、各教科等の学びへ向かっていくことができるよう工夫している。</p>
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	<p>文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。</p> <p>【学校図書】(◎)：発達段階に合わせた文字の量になっており、一文も短く簡潔な表現で児童にとって分かりやすい。かんざつカードの例示が大きく扱われており、見本として活用しやすい。</p>
	(2)	<p>写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p> <p>【大日本図書】(☆)：白黒写真やピンゴカードなどを掲載することで、児童の探究的な意欲を高め、楽しみながら学習を進めることができるようになっている。また、写真とイラストがバランスよく使われており、例えば観察してスケッチさせたいものはイラストとして掲載しているなど、学習効果を期待した意図が分かる。 【学校図書】(◎)：児童の活動場面の写真や動植物の成長の様子をとらえた写真を大きく掲載することで、活動意欲が高まるようになっている。また、動植物については、適宜イラストを用いて、観察するときの手がかりになるようになっている。 【啓林館】(◎)：「びつくりずかん」を設け、四季折々の風物の画像や挿絵を掲載することで、日常生活と学習がつながるように工夫している。また、動植物の成長の様子を段階を追って掲載しており、科学的な見方の土台となる気付きをもつことができるようになっている。</p>
	(3)	<p>個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)</p> <p>【大日本図書】(☆)：QRコードの数が一番多く、おもちゃのつくりかたなどは動画・音声・文字で分かるようになっており、児童自らが活動を進めやすくなっている。ICTを活用する場面を多様に紹介しており、児童だけでなく指導者も、どの場面でものように使えばよいかの見通しをもつことができる。 【教育出版】(◎)：活動場面の写真や挿絵にパソコンを活用している場面を多く使っており、児童に自然とICT活用を促すようになっている。QRコードも多めで、学習に必要な情報を児童自ら手に入れやすくなっている。「わくわくスイッチ」というページで、プログラミング的思考を促せるようになっている。 【啓林館】(◎)：「デジタルたんけんブック」「学びウェブ」を設け、インターネット経由で学習の参考になる情報を閲覧することができる。また、話し合いや協力して行う活動場面を多く紹介している。</p>

観点項目		発行者	教育出版	教育芸術社
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	○	○
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	○	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	○	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	○	◎
教科独自観点	(4)	表現領域の三分野及び鑑賞領域について、バランスよく学習できるような内容、構成となっているか。	◎	◎
	(5)	表現及び鑑賞の指導を通して共通事項を身に付けることができる内容となっているか。	◎	◎
	(6)	我が国の音楽に親しみ、よさを一層味わうことができるよう工夫されているか。	○	◎
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	○	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	◎	○
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	○	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(○)：
	(2) 郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	【教育出版】(◎)：郷土長崎市に直接関わる題材はない。関連する事柄として4年生の「日本のお祭りをたずねて」の中で「長崎くんち」の写真、5年生の「日本の民ようをたずねて」の中で諫早市の「のんご節」（写真掲載なし）が紹介されている。 【教育芸術社】(◎)：郷土長崎市に直接関わる題材はない。関連する事柄として4年生の「ちいきにつたわる音楽に親しもう」の中で「長崎くんちの龍踊」が写真と文で紹介されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(◎)：巻末に共通事項のまとめが掲載されるとともに学習した題材、ページが示されている。学習後、振り返って確認したり練習したりできるようになっており、必要な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(◎)：「見つける」「考える」「演奏する」「歌う」「つくる」といった学習の視点を教材ごとに設定している。何をどう表現するかに意識が向くようにすることで、より学年に適した表現力が高まるよう工夫されている。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(◎)：スモールステップで学びを深めていく題材構成となっている。また、教材ごとに、QRコードで主旋律を聴くことができ、音楽を苦手とする児童も自分で曲を確かめながら主体的に学習に取り組めるように工夫されている。
教科独自観点	(4) 表現領域の三分野及び鑑賞領域について、バランスよく学習できるような内容、構成となっているか。	【教育出版】(◎)：各分野・領域ともに偏りなくバランスの良い構成となっている。今までの学習を生かして発展的な音楽表現活動ができるような教材が準備されている。 【教育芸術社】(◎)：題材の中で表現領域、鑑賞領域がバランスよく学習できる構成となっている。題材のねらいを明確に提示し、そのねらいに即した表現・鑑賞の教材を効果的に配置している。
	(5) 表現及び鑑賞の指導を通して共通事項を身に付けることができる内容となっているか。	【教育出版】(◎)：その教材で学習する共通事項がページ上部に明示しており、何をポイントとして音楽表現に取り組めばよいかがよくわかる。共通事項と教材の関連や気づき等をメモできる工夫があり、共通事項を意識して教材を学ぶことができる。 【教育芸術社】(◎)：その教材で学習する共通事項がページ下部に明示しており、何をポイントとして音楽表現に取り組めばよいかがよくわかる。巻末に共通事項が学年に応じた表記でまとめられており、活用しながら共通事項の習得を図ることができる。
	(6) 我が国の音楽に親しみ、よさを一層味わうことができるよう工夫されているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(◎)：全学年にわたって教科書最後の曲集「歌いつごう 日本の歌」の中に童謡や日本の伝統的な歌唱曲が掲載されている。旋律を確認して歌うこともできるように工夫されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1) 文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(○)：
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	【教育出版】(◎)：写真、挿絵等が全体的に大きくインパクトがある。現在メディアに登場する国内外で有名な日本人音楽家等（辻井伸行氏、小澤征爾氏、野村萬斎氏など）を写真で紹介し、児童の興味をそそるような工夫がなされている。 【教育芸術社】(○)：
	(3) 個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）	【教育出版】(○)： 【教育芸術社】(◎)：音楽づくりでは、QRコードの中に教科書に掲載されているワークシートをデジタル化した簡単なソフトが用意されており、児童が個別に自分たちで学習が進められるような工夫がされている。

観点項目		発行者	開隆堂	日本文教
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
共通 観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容・構成となっているか。	◎	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長				
共通 観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	☆	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	☆	◎
教科 独自 観点	(4)	造形遊びをする活動は、材料や場所などを基に造形的な活動を思いつき、手や体全体の感覚を働かせて活動を工夫できる内容・構成となっているか。	◎	◎
	(5)	絵や立体、工作に表す活動は、感じたことや創造したこと、見たことなどから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら表し方を工夫できる内容・構成となっているか。	◎	◎
	(6)	鑑賞をする活動は、造形的な面白さや美しさ、表し方などについて、自分の見方や感じ方を深める内容・構成となっているか。	◎	◎
	(7)	表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、生かせるような内容・構成になっているか。	○	☆
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
共通 観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	☆	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）	☆	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容・構成となっているか。</p> <p>【開隆堂】(◎)：かいたりつくったりする活動を通して、豊かな心と確かな学力を育てようとする内容で、一人一人の児童が心を開き自発的に課題をつかみ、児童自らが創造活動を楽しめるように配慮されている。 【日本文教】(◎)：つくることや見ること、感じたことを伝え合うことを通して多様な考えを尊重し創造する力を育もうとする内容で変化の激しい時代に未来を作り出す創造力を身に付けられるよう配慮されている。</p>
	(2)	<p>郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。</p> <p>【開隆堂】(○) 【日本文教】(◎)：「広がる図工」で、長崎市の「平和の祈りキッズゲルニカinながさき」が紹介されている。</p>
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。</p> <p>【開隆堂】(◎)：各題材では、つくり方や技能・知識は写真やイラストで明示されている。また、知識・技能を確実に身に付け活用を図る「学びの資料」のページが充実している。 【日本文教】(◎)：児童が造形的な視点について理解できるよう感覚や行動を大切に題材が扱われている。また、技能の基礎を支えるために「材料と用具のひきだし」のページが充実している。</p>
	(2)	<p>知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。</p> <p>【開隆堂】(☆)：各題材では、三つの目標をイメージしたキャラクターで表し、そのうち一つを中心的な目標として強調して示し児童の学習を深める支援を行うように全編を通して編集されている。 【日本文教】(◎)：資質・能力を三つの柱に対応したためあてをピクトグラムで示し、その題材で何を学ぶのかがわかるように配慮されている。</p>
	(3)	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。</p> <p>【開隆堂】(☆)：タブレット端末で二次元コードを読み取ることで、用具の使い方などの動画や、発想や構想、振り返りなどに役立つワークシートを自ら主体的に活用できるコンテンツがまとまっている。 【日本文教】(◎)：自分で選べる多様なコンテンツが、児童の好奇心や探求心を刺激し、児童自ら図画工作をより深く学ぼうとする意欲を高めることができる。</p>
教科独自観点	(4)	<p>造形遊びをする活動は、材料や場所などを基に造形的な活動を思いつき、手や体全体の感覚を働かせて活動を工夫できる内容・構成となっているか。</p> <p>【開隆堂】(◎)：自然材料や人工材料を生かした活動を活性化する場の紹介があり、協働で行う楽しさを味わう題材を多く紹介している。 【日本文教】(◎)：身の回りの材料や自然に親しむ造形活動を掲載し、材料や場所と関わりながら体全体を使って活動する題材を多く紹介している。</p>
	(5)	<p>絵や立体、工作に表す活動は、感じたことや創造したこと、見たことなどから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら表し方を工夫できる内容・構成となっているか。</p> <p>【開隆堂】(◎)：題材や材料から感じたことをもとに発想し、児童の「やってみたい」という主体的な気持ちを大切に内容になっている。 【日本文教】(◎)：児童にとって楽しく興味や関心の高まる題材や材料を充実させ、主体的に取り組める内容になっている。</p>
	(6)	<p>鑑賞をする活動は、造形的な面白さや美しさ、表し方などについて、自分の見方や感じ方を深める内容・構成となっているか。</p> <p>【開隆堂】(◎)：作家作品だけではなく、身近な自然の造形や工芸品・建造物なども扱い、児童が親しみを感じられるように構成されている。 【日本文教】(◎)：作家作品や伝統文化・工芸品など多様な美術作品が大きな図版で掲載されており、鑑賞することを通してよさや美しさを感じ取ったり考えたりできるように工夫されている。</p>
	(7)	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、生かせるような内容・構成になっているか。</p> <p>【開隆堂】(○) 【日本文教】(☆)：「造形遊びをする活動」と「絵や立体に表す活動」を「鑑賞する活動」と組み合わせたかたちで全題材で提示している。</p>
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	<p>文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。</p> <p>【開隆堂】(☆)：UDフォントが使用されており、文字が大きくて大変見やすい。さらに、二次元コードが大きく見やすい配列となっている。 【日本文教】(○)</p>
	(2)	<p>写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p> <p>【開隆堂】(☆)：子供が笑顔で生き生きと材料や場と関わっている写真を多く用い、学習意欲を高めようとしている。また、協働で活動する様子も多く収められており、子ども同士の関わり合いを助長している。 【日本文教】(◎)：子供が一生懸命な表情で表現しようとする写真を多く用い、教材の面白さを伝えている。</p>
	(3)	<p>個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)</p> <p>【開隆堂】(☆)：ICTを活用するための二次元コードからつながるコンテンツがひとまとまりになっており、児童が自分の進度に合わせて適切に活用することができる。 【日本文教】(◎)：二次元コードから用具の使い方や仕組みの作り方など資料を動画や映像で見ることができる。児童は、自らの関心を広げながら学習を進めることができるように工夫されている。</p>

観点項目		発行者	東京書籍	開隆堂
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	☆
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	☆
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長				
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	◎	☆
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	◎	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	☆
教科独自観点	(4)	日常生活の中から課題を設定し、実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようとする工夫がなされているか。	◎	◎
	(5)	家族や地域の人とのよりよい関わりについて考えることができるよう配慮されているか。	◎	◎
	(6)	学年の発展性や系統性、他教科との関連を図れる題材の配列及び構成となっているか。	◎	◎
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	○	◎
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	◎
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）	◎	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。 【東京書籍】(◎)：2年間を通して生活をよりよく工夫しようとする力が身に付くような題材配列となっている。「成長の記録」は全題材の学習記録ができる。「プロに聞く」はキャリア教育の視点が取り入れられている。 【開隆堂】(☆)：2年間の家庭科学習が持続可能な社会の構築につながるというストーリー性のある題材配列となっている。「キャリアインタビュー」が数多く取り上げられ、キャリア教育の視点が取り入れられている。
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。 【東京書籍】(○)：「地域の汁物」「地域の料理」等が紹介され、日本各地の伝統や文化について関心を高めることができる。団らんの例にカステラが掲載されている。 【開隆堂】(☆)：「食文化」「地域のおやつ」等が紹介され、伝統・文化の理解や他国の文化を尊重する態度が育成できる。地域性に配慮したみそこしの使用、長崎の煮干し、カステラ、具雑煮が紹介されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。 【東京書籍】(◎)：問題解決的な学習の中で知識・技能が習得できるように、題材の導入に学習の流れが明示されている。巻頭巻末に実習に必要な知識・技能が確認できる「いつも確かめよう」のページがある。 【開隆堂】(☆)：すべての題材に3つの資質・能力に沿っためあてが設定され、習得すべき内容が明確である。「できたかな」で知識・技能の習得を確認し、最後は「ふり返ろう」でめあてに戻るようになっている。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。 【東京書籍】(◎)：題材の導入に問題解決的な学習の流れが明示されている。題材の終末には実践化を促すための例示が多く示されている。 【開隆堂】(◎)：すべての題材が問題解決的な学習の3ステップの小題材で構成され、身に付けた知識・技能を生かして、自分なりに工夫して製作を行ったり、新たな課題に取り組んだりできるようになっている。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。 【東京書籍】(◎)：題材の始めは課題を見つけたり、学習の見通しをもったりできるような写真やイラストが掲載されている。 【開隆堂】(☆)：題材の始めは課題を見つけたり、学習の見通しをもったりできるように、児童を主役とした写真やイラストが掲載されており、児童の興味・関心を高めながら学習が進められるようになっている。
教科独自観点	(4)	日常生活の中から課題を設定し、実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようとする工夫がなされているか。 【東京書籍】(◎)：「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで学習が進められている。家庭での実践を促す「生活を変えるチャンス」が示されている。 【開隆堂】(◎)：「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで学習が進められている。家庭での実践を促す「レッツトライ」が示されている。
	(5)	家族や地域の人とのよりよい関わりについて考えることができるよう配慮されているか。 【東京書籍】(◎)：家族との団らん、生活時間の使い方の題材の後には、「生活を変えるチャンス」で実践化を促している。最終題材は家族や地域の一員としての意識を高める題材となっている。 【開隆堂】(◎)：家族との団らんの題材の後には実践化を促す「生活の課題と実践例」が示されている。地域との共生の題材は地域の人たちとのかかわるためのプロジェクトに取り組む実践的な内容となっている。
	(6)	学年の発展性や系統性、他教科との関連を図る題材の配列及び構成となっているか。 【東京書籍】(◎)：題材配列は基礎から応用へ、簡単なものから複雑なものへと段階的である。2年間の最終題材では、共生社会の実現に向けた題材が配置され、総合的な学習との関連を図ることができる。 【開隆堂】(◎)：題材配列は基礎から応用へ、簡単なものから複雑なものへと段階的である。2年間の最終題材には持続可能な社会の構築につながる題材が配置され、総合的な学習の時間との関連を図ることができる。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。 【東京書籍】(○)：多様な家族構成、グローバル化等に配慮した生活場面がイラストで示されている。4人の登場人物の名前はジェンダーフリーの考え方が生かされている。 【開隆堂】(◎)：多様な家族構成、グローバル化等に配慮した生活場面がイラストや写真で示されている。4人の登場人物には多様性の配慮が見られる。調理や製作の手順は背景の色が統一されており見やすい。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 【東京書籍】(○)：巻末には調理実習技能、製作実習技能を確かめられるように、実物大写真をはじめとする豊富な写真が示されている。 【開隆堂】(◎)：巻末には調理用具、包丁の使い方、野菜の切り方と大きさの目安等が写真で示されている。折込ページの食品分類表、裏表紙の野菜の切り方とルーラーは資料として活用しやすい。
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む) 【東京書籍】(◎)：きんちゃくぶくろ、ランチョンマットなど、個人の意欲と技能に応じた作品例が多く示されている。製作の仕方や調理の仕方を動画で確認できるようにQRコードが示されている。 【開隆堂】(◎)：ランチョンマットやクッションカバーなど、個人の製作意欲と技能に応じた作品例が示されている。製作の仕方や調理の仕方を動画で確認できるようにQRコードが示されている。

観点項目		発行者	東京書籍	大日本図書	大修館	文教社	光文書院	Gakken
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	◎	○	○	○	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	○	○	○	○	◎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	☆	◎	○	○	○	◎
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	☆	◎	○	○	◎	☆
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	☆	◎	○	○	☆	☆
教科独自観点	(4)	健康の大切さを認識するとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心を持ち、健康により生活を続けることについて理解を深める内容、構成になっているか。	◎	○	◎	○	○	◎
	(5)	年齢に伴う体の発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化などについて理解を深める内容、構成になっているか。	◎	☆	◎	○	◎	☆
	(6)	心は年齢とともに発達すること及び心と体は相互に影響し合うことや、不安や悩みへの対処の仕方などについて理解を深める内容、構成になっているか。	☆	☆	◎	○	○	☆
	(7)	けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがの簡単な手当てができるような内容、構成になっているか。	☆	◎	◎	◎	○	☆
	(8)	病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についての理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。	☆	☆	◎	◎	◎	◎
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長								
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	☆	○	○	○	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	☆	◎	◎	○	☆	☆
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	☆	☆	○	○	○	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。 【東京書籍】(◎)：思考を促すよう知識理解を深める文章や図が、課題設定及び解決のステップに分けて示されているとともに、各章末に資料コーナーが設定されており、主体的・対話的に学習を進めるようになっている。 【大日本図書】(◎)：資料ページを設定して発展的な内容も取り扱い、学習したことに関して多様な観点から健康に関する興味・関心を高め、進んで学習に取り組もうとする態度を養うことができるようになっている。 【Gakken】(◎)：資料ページの設定、知識理解を促す文章や図など、幅広い知識を身に付け、実践的な態度を養うことができるようになっている。
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。 【Gakken】(◎)：「けがの防止」の資料では、津波避難場所や気象特別警報などについて写真や図表を用いて取り扱うことで、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるようになっている。(「保健施設」で佐世保市浄水場の写真掲載) 【東京書籍】(○)：「けがの防止」では、地震による災害やけがを防ぐ方法について写真や挿絵を多数用いて取り扱い、海に囲まれた本県の安全教育との関連を図ることができるようになっている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。 【東京書籍】(☆)：技能の内容である「けがの手の仕方」を具体的に説明するとともに、デジタル資料も実写動画で充実している。また、「病気の予防」で新しい知識として示された「回復」の記載と具体例が示されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるように工夫されている。 【大日本図書】(◎)：技能の内容である「けがの手の仕方」を挿絵を用いて手順をわかりやすく解説し、わかりやすく、基本的な知識・技能の習得ができるように工夫されている。「病気の予防」で新しい知識として示された「回復」は説明があるが明確な言葉の記載はない。 【Gakken】(◎)：技能の内容である「けがの手の仕方」を具体的に説明するとともに、デジタル資料も手順ごとに動画があり、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるように工夫されている。「病気の予防」で新しい知識として示された「回復」は記載のみである。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。 【東京書籍】(☆)：学習の進め方が4ステップに分けて示され、各項目の導入として身近な場面を想起させる写真や挿絵などを多く用いて、健康課題に気付いたり見つけたりすることができるよう工夫されている。 【Gakken】(☆)：自分で考えてから友達と考え、身に付けたことを活かすという流れとなっており、課題解決の学習の流れの定着や指導内容の習得をめざす工夫がされている。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。 【東京書籍】(☆)：各項目の「気づく・見つける」では、学習の課題を見つけるための写真や挿絵などを1頁に掲載し、身近な生活と関連付けながら主体的に学習を進めることができる工夫がなされている。 【光文書院】(☆)：各章の導入に関連する漫画を掲載して学習内容のイメージをつかみやすくするとともに、各項目末に学んだことを生かすコーナーを設定してあり、主体的に学習に取り組むための興味・関心を高める工夫がなされている。 【Gakken】(☆)：各項目の導入で学習の進め方を提示し、実際に試したり考えたりしたいと意欲を高める資料を掲載し、主体的に学習に取り組むための興味・関心を高める工夫がなされている。
	(4)	健康の大切さを認識するとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心をもち、健康によい生活を続けることについて理解を深める内容、構成になっているか。 【東京書籍】(◎)：「けんこうによい日の生活」では、健康状態の異なる2人の生活を比較させながら自分の生活リズムの改善を考える流れとなっており、また「けんこうによいかんきょう」では、問題点と改善点について考えをまとめる欄を設定しており、学習内容の実践が必要なことを理解する構成となっている。 【大修館】(◎)「大切なけんこう」では、元気活動の様子の子供の写真や挿絵を基に気づきを話し合っで考えを記述する流れとなっており、また、「身の回りのかんきょうとけんこう」では、「もっと学びを深めよう」のページに詳しい資料を掲載するなど、学習内容の理解を深める構成となっている。 【Gakken】(◎)：「1日の生活のしかた」では、2人の生活の仕方を比較しながら改善を考える流れとなっており、また、「体の清潔」では、科学的実験結果の写真に掲載するなど、実感を伴って学習内容を理解する構成となっている。
教科独自観点	(5)	年齢に伴う体の発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化などについて理解を深める内容、構成になっているか。 【大日本図書】(☆)：「年れいとともに変化する体」では、小学校入学時から4年生までの身長を記録したり図表に表したりする活動を通して、体の発育には個人差があることを実感を伴って理解することができる構成となっている。また、「思春期に現れる体の中の変化」では、写真や挿絵、図表を掲載し、体の変化について理解することができるようになっている。 【Gakken】(☆)：「体の中で起こる変化」では、写真や挿絵、年長者の経験談など豊富な資料を掲載しており、また、「よいよい発育・発達のために」では、学習したことから今後の目標を記述する欄を設け、学習内容の理解を深めて生活実践へ結びつける構成となっている。
	(6)	心は年齢とともに発達すること及び心と体は相互に影響し合うことや、不安や悩みへの対処の仕方などについて理解を深める内容、構成になっているか。 【東京書籍】(☆)：心の状態による体の変化や体の状態による心の変化について記入欄を設けて理解を深める工夫をするとともに、心を鎮めるための対処法や運動の効果を示し不安や悩みがあるときの簡単な対処法を実践することができるような構成となっている。 【大日本図書】(☆)：「心の発達」では、感情・社会性、思考力の発達の具体例を時系列で示し、心は生活経験を通して年齢に伴って発達することを理解できる工夫をするとともに、不安や悩みへの対処方法を記述する欄を設けて課題の解決に向けて具体的に考えを深めることができるような構成となっている。 【Gakken】(☆)：心が発達すると思うことを記入して学級で話し合うことで様々な経験が心を発達させることの理解を深める工夫をするとともに、不安や悩みへの対処の例を複数示して様々な対処法があることを理解することができるような構成となっている。
	(7)	けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがの簡単な手当でができるような内容、構成になっているか。 【東京書籍】(☆)：身近な生活場面からけがの要因を分類して記述する欄を設けたり、犯罪被害が起こりやすい状況を選択・比較したりして理解を深める工夫を行うとともに、技能の内容である「けがの手の仕方」を具体的に説明し、教科書やデジタル教材を基に自分で試し、理解を深めることができるような構成となっている。 【Gakken】(☆)：学校や身の回りで起きる事故について複数の図表や事例を通して考える活動を設定する工夫をするとともに、手順ごとに動画でけがの手当ての方法を示し、それを基に自分で試し、理解を深めることができるような構成となっている。
	(8)	病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についての理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。 【東京書籍】(☆)：病原体が主な要因となって起こる病気であることを場面を、設定して考えさせる工夫をするとともに、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についてそれぞれを1時間ごとに指導し、薬物の乱用の害では依存症等についても理解を深める構成となっている。 【大日本図書】(☆)：喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響については、少ないページでまとめられているが、その害を写真や挿絵、図表から認識できるように資料を示して健康に与える影響について理解を深める構成となっている。また、「地域で行われている保健活動」においても、家庭、学校、地域に分けて様々な保健活動の様子を示しわかりやすい構成となっている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。 【東京書籍】(☆)：題材数は21、122ページ。文章量が豊富で資料等の情報も充実している。文字の大きさは普通で、イラストは淡く、少ない種類の配色で、読みやすさと見やすさに配慮されている。 【大日本図書】(☆)：題材数24、114ページ。資料となる部分の文章量が豊富で充実している。文字が大きく見やすく、指導内容を押さえる部分と他とのメリハリがある。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 【東京書籍】(☆)：写真等193、小さいが見やすい。内容のポイントを押さえ、学習効果が高まるように配置されている。 【光文書院】(☆)：写真等190、レイアウトがすっきりとしていてわかりやすい色使いで、ねらいに迫る気づきを考えやすい。 【Gakken】(☆)：写真等185、漫画が多い。円グラフや棒グラフを基本とした統計資料を提示し、数量的な変化や差異が把握しやすくなっている
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む) 【東京書籍】(☆)：プログラミング的思考が取り入れられており、教科書内にワークシートが設定されている。QRコード89、具体例から学習内容をイメージしやすく理解が深まる内容となっている。 【大日本図書】(☆)：プログラミング的思考が取り入れられており、教科書内にワークシート・単元末の振り返りが設定されている。QRコード41、動画コンテンツが豊富で児童の興味・関心を高めるような工夫がなされている。

観点項目		発行者	東京書籍	開隆堂	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	○	○	○	○	○	○
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう工夫されているか。	☆	◎	○	○	◎	○
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	☆	☆	◎	○	☆	◎
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣が身に付くよう工夫されているか。	◎	☆	◎	◎	☆	○
教科独自観点	(4)	5つの領域において、基本的な語句や表現に繰り返し触れることができるよう工夫されているか。	◎	◎	◎	○	◎	○
	(5)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができるように工夫されているか。	○	◎	◎	◎	☆	◎
	(6)	日本を含む様々な国や地域の文化に触れることができる題材を取り上げているか。	◎	☆	○	○	◎	◎
	(7)	【デジタル教科書】紙版と使用することで、学習者の外国語の学びをより深め広げる工夫はなされているか。	☆	○	☆	○	◎	○
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長								
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	○	◎	○	◎	◎	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	○	◎	◎	◎	◎	○
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	☆	◎	◎	○	◎	◎

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	どの発行者においても、教育基本法の理念等を踏まえた編成となっている。 【東京書籍】(◎)：5年で日本、6年で世界をテーマに掲げ、身近な地域・日本及び世界の生活や文化等、異文化理解が図られるように配慮されている。 【開隆堂】(◎)：5年では自分や身近な人々や地域、6年では外国の生活を題材とした単元を系統的・発展的に配列することで、自他の理解を深め、我が国や地域を愛する態度を養うことができるように配慮されている。 【光村図書】(◎)：様々な国の小学生の考え方や暮らし方に触れることで、他国を尊重し、日本人として国際社会の平和と発展に寄与することができるように配慮されている。
	(2)	「長崎」について、特に大きく取り扱っている発行者はないが、それぞれに絵や写真の掲載がある。題材・教材については、児童に身近なものである。 【東京書籍】(○)：6年では、出島と伊東マンショ、カステラの絵が掲載されている。 【開隆堂】(○)：5年では、桃カステラの写真が掲載されている。 【光村図書】(○)：5年では、自分の地域の魅力を伝える活動が掲載されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1)	【東京書籍】(☆)：単元構成の工夫により、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られている。 【光村図書】(◎)：段階を踏んだ単元構成にすることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られている。 【開隆堂】(◎)：語句や表現に繰り返し触れ、慣れ親しみながら表現につなげる単元構成で、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られている。
	(2)	【東京書籍】(☆)：ペア活動や既習表現を活用した言語活動を設定することで、思考力、判断力、表現力が育成されるように工夫されている。 【開隆堂】(☆)：ペア活動や場面に応じたコミュニケーション活動を設定し、楽しみながら思考力、判断力、表現力が育成されるように工夫されている。 【光村図書】(☆)：各単元で伝え合う活動を取り入れたり、複数単元で学んだことを活用した言語活動を設定したりすることで、思考力、判断力、表現力が育成されるように工夫されている。
	(3)	【開隆堂】(☆)：単元冒頭に身に付けさせたい力のゴールとその達成に向けたためを併記することで、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。 【光村図書】(☆)：各学年でできるようになることを明確に記し、「CAN-DOリスト」で繰り返し自己評価を行うことで、見通しを持って段階的に学習が進められるようにしている。 【東京書籍】(◎)：各単元で身近な生活を舞台としたストーリーを設定することで、主体的に学習を促している。
教科独自観点	(4)	基本的な語句や表現に繰り返し触れることができるということをポイントに調査・研究してきた。 【東京書籍】(◎)：すべての単元で言語教材の配列をスパイラルかつモジュールステップにすることで、言語材料に繰り返し触れることができるように工夫されている。 【開隆堂】(◎)：「Story Time」では、該当単元で学習した言語材料を用いた絵本などの読み物に触れる活動を行うことで、楽しみながら読む力を育むことができるよう工夫されている。 【三省堂】(◎)：各Unitでできるよりの小単元で構成することで、言語材料・言語活動などをスパイラルに学ぶことができるように工夫されている。 【光村図書】(◎)：各単元Hop、Step1、Jump!で構成することで、聞く活動から話す・書く・読む活動へと進めることができるように工夫されている。
	(5)	「目的・場面・状況がある活動」、「互いの考えや気持ちを伝え合う活動」をポイントに調査・研究してきた。 【光村図書】(☆)：「Plus One」や「Phrase Hunt」では、既習表現の活用場面を設定することで、自分の考えや気持ちを表現できるように配慮されている。また、各単元の「Small Talk」では、アニメの問いかけに応じる活動を設けることで、既習表現の活用と定着を促し、対話を続けることができるように配慮されている。 【開隆堂】(◎)：ゴールの言語活動に向け、単元の第1時から毎時間言語活動を積み重ねることで、互いの考えや気持ちを繰り返し伝え合うことができるように配慮されている。
	(6)	【開隆堂】(☆)：「Let's Watch and Think」では、世界の子供が自分や自国の文化を紹介する英語を聞いたり、映像を見たりすることで、異文化を理解できるように配慮されている。また、「Around the World」「Our World」で海外の言語、伝統や文化などに触れることで、日本の文化を再確認したり、他国を尊重したりする態度を養うことができるように配慮されている。 【光村図書】(◎)：「世界の友達」では、様々な世界の子供が自国を紹介する場面を設定することで、それぞれの国の特徴や文化に触れることができるように配慮されている。 【東京書籍】(◎)：「Over the Horizon」では、外国の映像を見たり物語を読む活動を行ったりすることで、多様な文化に触れ、言語活動の背景にある文化を理解できるように配慮されている。 【啓林館】(◎)：「Did you know?」では、世界の様々な情報を紹介することで、様々な国の生活や文化、日本との違いに触れることができるように配慮されている。
	(7)	【デジタル教科書】 紙版と使用することで、学習者の外国語の学びをより深め広げる工夫がなされているか。 【東京書籍】(☆)：ICTプラットフォームLentrance Reader(レントランスリーダー)上で利用しているので、操作性が高い。教科書紙面のQRコードからアクセスできるすべてのコンテンツをデジタル教科書上で表示・再生できる。 【三省堂】(☆)：ICTプラットフォームLentrance Reader(レントランスリーダー)上で利用しているので、操作性が高い。豊富な音声と動画に加え、絵辞典やワークシートなど多様なコンテンツが用意されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1)	【開隆堂】(◎)：単語リストを別冊にまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。また、各単元において活動マークを示すことで、活動内容が伝わりやすくなるよう配慮されている。 【教育出版】(◎)：単語リストを巻末に分類してまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。 【光村図書】(◎)：単語リストを巻末に取り外し可能な絵辞典としてまとめることで、学習内容の定着に役立つよう工夫されている。また、単元のまとまりごとに色を設定し、5つの領域を活動マークにすることで、分かりやすくなるよう配慮されている。
	(2)	【開隆堂】(◎)：挿絵や異文化理解を促す写真を使って、聞いたり書いたり、ゲームを行ったりすることで学習意欲を高められるよう配慮されている。 【三省堂】(◎)：各単元の扉には写真があり、見開きの挿絵を見ながら表現に触れることで、学習意欲を高められるように工夫されている。 【教育出版】(◎)：各単元の扉の映像に関する設問に答える活動を設定することで、学習意欲を高められるように工夫されている。 【光村図書】(◎)：各単元の扉のアニメ映像に関する設問に答える活動を設定することで、学習意欲を高められるよう工夫されている。
	(3)	【東京書籍】(☆)：書き込みのできるページが多く、個別最適な学びの充実を図る工夫がなされている。また、デジタルコンテンツが充実しており、情報活用能力が高まるよう工夫されている。子ども同士の言語活動が設定されており、協働的な学びに導く工夫が図られている。 【光村図書】(◎)：すべての活動がQRコードにより動画で示されており、モデル発表の動画も準備されるなど、個別最適な学びを充実させるための工夫がなされている。また、子ども同士の言語活動が設定されており、協働的な学びに導く工夫が図られている。 【開隆堂】(◎)：単元の流れがわかりやすく、すべての活動がQRコードにより動画で示されるなど、個別最適な学びを充実させるための工夫がなされている。また、子ども同士の言語活動が設定されており、協働的な学びに導く工夫が図られている。

観点項目		発行者	東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教	光文書院	Gakken
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(2)	郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	◎	○	○	◎	◎	○
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長								
共通観点	(1)	発達の段階とねらいにふさわしい内容や表現であり、興味・関心、意欲を高められるよう配慮されているか。	☆	○	☆	○	◎	○
	(2)	道徳的価値の理解を基に、物事を多面的・多角的に考えられるよう適切に配慮されているか。	☆	○	○	○	◎	○
	(3)	指導方法を工夫できるよう、適切に配慮されているか。（問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習、自我関与ができる学習など）	◎	○	◎	○	◎	○
教科独自観点	(4)	SNS等をはじめとする情報モラルやいじめ問題への対応が充実しているか、	◎	○	○	◎	○	○
	(5)	平和、人権に関することや今日的な課題・国際的な視野等を含めた題材が扱われているか。	◎	◎	○	○	◎	○
	(6)	家庭や地域社会と連携したり、共有したりできるような題材が扱われているか。	◎	○	◎	○	○	○
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長								
共通観点	(1)	文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	☆	○	○	◎	◎	○
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	☆	○	◎	○	☆	○
	(3)	個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。（ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む）	☆	○	◎	○	◎	○

観点項目		評価の根拠
1 教育基本法の理念や第4次長崎市教育振興基本計画の趣旨・内容をふまえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」という目指す姿の育成につながる内容、構成となっているか。	【東京書籍】 (◎) : 情報モラルや防災、いじめ等、現代に合った話題が取り上げられている。内容項目についても複数の教材を関連付けて考えることができる構成になっている。 【光文書院】 (◎) : 考えるためのツールが多く紹介されていて、教材の特性と児童の実態を合わせて考えることができる。また、自分の良さに気づき、努力しようとする教材が取り入れられている。
	(2) 郷土「長崎」の伝統・文化・産業や歴史、自然、人物などを生かした題材が扱われているか。また、子供たちにとって、身近な題材や教材を取り扱っているか。	【東京書籍】 (◎) : 日本全国の話題を取り入れた教材があったり、ボランティア活動の内容があったりと郷土「長崎」と結び付けやすい内容も多く取り入れられている。 【日本文教】 (◎) : 6年の平和に特化したページで長崎の原爆祈念式典を扱ったり、3年の「助かった命」では長崎大水害や普賢岳噴火等と結び付けて考えることができる。 【光文書院】 (◎) : 子どもの発達段階に応じた身近な題材を多く扱っており子どもが自分事として考えやすい。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長		
共通観点	(1) 発達の段階とねらいにふさわしい内容や表現であり、興味・関心、意欲を高められるよう配慮されているか。	【東京書籍】 (☆) : 身近な問題がバランス良く配置されていて発達段階に応じた指導ができる。また「気付く考える広げる深める」と、豊かな人間性を育むことにつながる構成になっている。 【光村図書】 (☆) : 巻頭や巻末に、道徳性につながるような問いが配置してある。加えて、授業後に児童自身が考えたり、発見したりできるようにしているので、自ら学ぶことができる。 【光文書院】 (◎) : 絵や図を使って気持ちを表したり順番に考えたりするなど、協働的に学び、高め合うことができる。
	(2) 道徳的価値の理解を基に、物事を多面的・多角的に考えられるよう適切に配慮されているか。	【東京書籍】 (☆) : 教材が多面的・多角的に考えることができるような内容となっている。また、中心発問でなぜそう思ったかを問う構成になっていて児童の実態に即した展開を工夫することができる。 【光文書院】 (◎) : 絵や図を使って気持ちを表したり、考えるためのツールが多彩に準備されている。物事を多面的・多角的にとらえ、納得解を考えることができる。
	(3) 指導方法を工夫できるように、適切に配慮されているか。(問題解決的な学習、道徳的行動に関する体験的な学習、自我関与ができる学習など)	【東京書籍】 (◎) : 中心発問と補助発問で考える方向性を示してある。なぜを問うことで自分事として捉えることができるので、児童の実態に合わせた指導の工夫ができる。「つながる・広がる」など自分の今後を考えるヒントが盛り込まれるなど、適切な工夫がされている。 【光村図書】 (◎) : 「つなげよう」やQRコードなど、様々な情報が仕込まれていて、授業後であっても自分なりの学びを進めることができる。 【光文書院】 (◎) : 巻頭に本時の学びにかかわる説明があったり、いろいろな思考ツールが紹介されていたりして、思考の手助けに活用できる。
教科独自観点	(4) SNS等をはじめとする情報モラルやいじめ問題への対応が充実しているか、	【東京書籍】 (◎) : SNSによりコロナ差別が広まった事案等、身近な問題をテーマにした教材が多い。 【日本文教】 (◎) : 法規の視点やグループワークなど、多様な方法で考えを深めるように工夫されている。
	(5) 平和、人権に関することや今日的な課題・国際的な視野等を含めた題材が扱われているか。	【東京書籍】 (◎) : 法規の視点でいじめについて考えるなど人権保障のための新たな視点が組み込まれている。 【教育出版】 (◎) : 「ベトナムの水問題と日本の関わり」など、世界的視野に立った教材が組み込まれている。 【光文書院】 (◎) : 「ネパール地震」や「ユニバーサルデザイン」等平和・人権に関する教材が多く見られる。
	(6) 家庭や地域社会と連携したり、共有したりできるような題材が扱われているか。	【東京書籍】 (◎) : 身近な問題をテーマにした教材が多く、家庭や地域と情報共有しやすい。 【光村図書】 (◎) : 「校歌」や「祭り」など家庭・地域と共に考えやすい教材がバランスよく配置されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通観点	(1) 文章が、分かりやすく質・量ともに豊かな記述となっており、レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用について適切に配慮されているか。	【東京書籍】 (☆) : 教材文の文字の大きさ、フォント、濃さ、行間が丁度良く、1ページあたりの文章量や挿絵のバランスが良い。 【光文書院】 (◎) : 教材文の文字の大きさ、フォント、濃さが丁度良く、色彩やレイアウトも良い。 【日本文教】 (◎) : 教材文の文字の大きさ、フォント、濃さが丁度良い。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	【東京書籍】 (☆) : 親しみやすい挿絵が多く、中心発問を補うものとして板書やワークシートに活用しやすい。 【光文書院】 (☆) : 挿絵が思考の手助けになるものが多く、写真や図表も見やすく効果的に活用してある。 【光村図書】 (◎) : 挿絵が親しみやすい絵が多く、内容によっては写真を効果的に活用してある。
	(3) 個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る工夫がされているか。(ICTを活用した学習活動等の充実や情報活用能力を育む工夫を含む)	【東京書籍】 (☆) : 「つながる・広がる」のコーナーでは、他の学習での学びとつなげて考えやすく「かんがえよう」では中心発問と自分事として捉えるときの発問の2つになっていて分かりやすい。 【光文書院】 (◎) : 絵や図で気持ちを表すなど、協働的に話し合っ解決していくための手法が紹介してある。 【光村図書】 (◎) : QRコードのデータが、人物のインタビュー等、考えを深める働きがあるものが多い。